

嗚呼、「しょく」なるかな

KEAC08年度総会にて、09年度会長を仰せつかりました三菱電機情報ネットワーク(株)の前川です。OB会の皆様方には初お目見えとなりますが、齢五十八のジョンベン垂れ小僧に、先輩諸兄の暖かきご指導をお願い申し上げます。今回の「食(しょく)」テーマをもじりながら自己紹介させていただきます。

1. 「天しょく」

私は、71年に三菱電機(株)に入社以来、現会社に出向・転籍しての殆どの期間を「設計という仕事の仕方の改善」、つまり設計の生産性向上に携わってきました。特にこの職種を希望したわけではなく、工作・品管とスタッフ業務を歴任する中で、必然的にモノづくり最上流の「設計スタッフ」にたどり着いたという「流れに乗せられた」結果です。本当は、自分の創造物を世に問い、品質・安全面の身震いするようリスクの中に身をおいて、知財補償でガッポガッポもうかる「設計」をやりたかったのです。多分、設計を任せられていたら三菱電機の株価はもっと上がっていたはずですが、今は、この設計生産性向上という仕事が「天職(しょく)」だったと、自己欺瞞も混じりながら思っております。

なぜ、この仕事が私の天職たりえたのか？その解は、「設計生産技術」が企業内で不当に低い存在感と評価に甘んじており、技術体系としても確立できていないという現実の打破に、自らの反骨心が燃えるところにあります。また、高学歴集団で頭でっかちな上、勝手気儘の口達者な設計者連中を相手に、説得術の全てを動員し彼らの仕事の仕方に方向性を与え、手綱を締めていくということの隠微な快感が底流にあることは否めません。

今もなお、この丁々発止の現場に身を置けているのは幸いですし、この限りにおいて、KEAC運営でお役に立てると信じています。お陰様で、女房一人・子供三人と、いままで禄を食むことができました。

これはまさに「天職」をもって「天食」いただいたということでしょう。

2. メタボと食

昨年検診で、腹回り86cm(基準85cm未満)、肥満指数BMI25.7(基準25未満)と目出度く、メタボ特定検診の対象となりました。結果的に、会社健保の費用負担を増やすことになってしまい、会社の必死な費用削減圧力にさらされています。

6ヶ月での改善を義務づけられ、早速一週間の食事履歴を記録することから始めさせられました。「しょうもなー」と思っていたのですが、書き出し始めるとウソはつけず、記録期間中の暴飲暴食は影を潜めました。なんとなく体調もよくなり、これはこれで最初の一步としてウマク嵌められました。

以降、その食事記録をもとに管理栄養士さんから、個室で膝詰めカウンセルがあり、その栄養士さんがピチピチ、音になるほどに若くて色気溢れる人とくれば、すっかり予定以上に減量目標を上積みするということになるのは自然の流れでした。ウ〜んと呻る見事な筋書きに乗せられて、今や、私の食事は豆主体となり、肉のお顔は正月、久しぶりに拜んだという状況で、夜もウォーキング・筋トレに励み、次に美人栄養士さんに会うときの見事な変身に涙ぐましく取り組んでいます。

これはまさに「牡の本能」が「食の本能」を凌駕したということでしょう。

本年もよろしく願い申し上げます。

こんな男です(写真右側)
-08年夏 マッターホルンを仰ぐ-

